

広域振興局長

提出者 久慈港運株式会社

住所 〒028-0041 岩手県久慈市長内町第42地割8番地14

氏名 代表取締役 兼田 忠康

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

## 地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

## 1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	久慈港運株式会社	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県久慈市長内町第42地割8番地14	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	609 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	59 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

## 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）





別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( 6 )年度									
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量			E・B・D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	1.06	kL	39		kL	39	3	7	-4	
軽油	620.00	kL	23,560		kL	23,560	1,624	1,889	-265	
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	0.11	t	5		t	5	0		0	
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		t			t					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		t			t					
石炭										
原料炭		t			t					
コークス用原料炭		t			t					
灰込用原料炭		t			t					
一般炭		t			t					
国産一般炭		t			t					
輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		t			t					
高炉ガス		t			t					
発電用高炉ガス		t			t					
転炉ガス		t			t					
都市ガス		t			t					
その他の燃料										
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼセル		kL			kL					
バイオガス		t			t					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		t			t					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料										
小計①						23,604	1,627	1,896	-269	
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①		kWh			kWh					
電気事業者②	33.35	kWh			kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		kWh			kWh					
太陽光		kWh			kWh					
水力		kWh			kWh					
風力		kWh			kWh					
その他		kWh			kWh					
小計③										
合計①=①+②+③						23,604	1,627	1,896	-269	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	609	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	1,627 t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
合計	1,627 t-CO <sub>2</sub>

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (6年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	9 ( 1 )	6,561 ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	15,026 kg-CO <sub>2</sub>	
軽油	49 ( )	620,996 ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	1,626,678 kg-CO <sub>2</sub>	
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気	1	150 kWh	0.402 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	60 kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	59 ( 1 )			1,641,764 kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

**【目標値の達成状況(進捗状況)】**  
 2023年を基準として、3年間で燃費を向上させ、二酸化炭素の排出量を10%削減すると目標を掲げて取組を進めてきた。  
 1年目で、14%削減することが出来た。目標は達成したが、継続して、排出量を少しでも多く削減できるように取り組んでいきたい。

**【具体的な取組状況】**  
 1.エコドライブの取組として、1人1人にエコドライブの意味を理解してもらい、それに合わせて危険の排除ができることを周知した。  
 2.輸送の積載率を把握し、輸送の効率化を図ることができた。さらに、突き詰めて無駄を省いていきたい。  
 3.電気自動車、ハイブリット車の導入を更に検討したい。  
 4.自動車利用抑制として、通勤時には自転車の利用、また近場での移動は、自転車又は徒歩での移動を実践した

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項